

飯田市立遠山中学校2学年

とおやまGO！タイム ～遠山郷の魅力を発見し、発信しよう～

飯田市立遠山中学校の2年生は、長野県南部の山間地域・遠山郷を舞台に、「地域の魅力を再発見し、発信する」活動に取り組んできました。豊かな自然と伝統文化を持ちながら、知名度や人口減少といった課題も抱えるこの地域に対し、生徒たちは3つのテーマ別講座を設け、総合的な学習の時間「とおやまGO！タイム」として1年間活動してきました。

【講座1】霜月祭り知ってもらい隊

遠山郷で長く受け継がれてきた霜月祭りの魅力を多くの人に伝えることを目指し、祭りの歴史や舞、使用される面などを調査。得られた情報をもとに、インパクトのあるポスターや動画の作成に取り組みました。ポスターでは写真やキャッチコピー、色使いに工夫を凝らし、動画ではGoogle Earthを活用して分かりやすく構成しました。今後は、効果的な動画配信方法の検討とさらなる完成度の向上を目指しています。

【講座2】鬼神(おにぎり)研究所

地域の名物「遠山ジンギス(味付け肉)」を使っだ ジンギスおにぎり＝鬼神(おにぎん)”の開発に挑戦。「遠山に来たらこれを食べよう！」と言われるようなご当地グルメを目指し、地域イベント「輪っしょい遠山」で試作品を配布してアンケートを実施しました。今後は「馬い、食う鹿ない、猪こんなに美味しくて」などのユニークなキャッチコピーを考案し、地域との連携を進めながら本格的な商品化を目指しています。

【講座3】自然・観光チーム

遠山郷の自然や観光資源を全国に伝えることを目的に、地域で活動する方々へのインタビューや、プロモーション動画作成のための写真撮影に取り組みました。SNS発信のコツや地域の課題を学びつつ、動画作成では計画性の課題も実感。今後はチームで目標を共有しながら、より効果的な情報発信に挑戦していく方針です。

遠山郷の未来に向けて

遠山郷の魅力を再確認し、地域とつながる体験を通じて、地域課題を自分ごととして捉える力が育まれました。生徒たちは「地域を元気にしたい」という想いを胸に、今後も発見と発信の学びを広げていきます。